

令和 5 年度 第 2 回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和 5 年 12 月 16 日（土） 11 時 10 分～12 時 20 分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 大谷みどり会長、渡部知和副会長、池田太持委員、坂根千歳委員、鷗鷗 順委員
 - (2) 事務局 中村訓子校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長
- 4 議 題
 - (1) 学校現況報告
 - (2) 地域連携
 - (3) 学校評価
 - (4) その他
- 5 議事の要旨
 - (1) 学校現況報告
資料により説明した。
 - (2) 地域連携
資料により説明した。
 - (3) 学校評価
アンケートの方法や内容について意見を聴取した。
 - (4) その他
委員から自由意見を聴取した。
- 6 会議経過
 - (1) 学校現況報告
委員から意見、質問等はなかった。
 - (2) 地域連携
委員から次のような意見があった。
 - ・ 公民館のあり方について、小学生、中学生、高校生の意見も取り入れることを考えている。
 - ・ 地域の防災訓練について、今年度は学校行事と重なってしまったが、日程を調整し連携して実施したい。これに対して事務局から次のような説明があった。
 - ・ 地域連携については「見える化」も必要で、しっかりと PR もしていく。
 - ・ 先般、市役所新庁舎テラスの名称選定に関わった際には、庁舎の歴史や役割なども

勉強させていただいた。公民館についても地域の拠点施設としての意義や役割を生徒に理解させる機会として期待できる。

- ・ 防災訓練をはじめ、地域活動に関わっていくことは情報共有を含め必要なことと認識している。

(3) 学校評価

(保護者へのアンケートについて)

委員から次のような意見があった。

- ・ 質問の仕方をもっと簡単にしてはどうか。
- ・ 子どもとのコミュニケーションができていないと回答し難いのではないか。
- ・ アンケートによって学校と保護者の繋がりを持っていただきたい。改革が必要と思われるような回答があることを期待する。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 昨年度のアンケートでは、ウェブ回答方式としたところ回答率が約3割だった。より多くの回答を得たいため紙様式での回答方式に戻し、学期末面談や生徒を通じて配布する。
- ・ 回答の選択肢に当てはまらない、回答がわからない設問も想定されるので、自由記述による意見欄を設け、より多くのご意見を求めることとする。

(4) その他

委員から次のような意見があった。

- ・ 地域、企業、行政など様々な立場からの意見を聞くことは大事なことと思う。地道に改善点を見出してもらいたい。
- ・ 保護者は当然、学校に関心を持っている。学校に関わりがなく関心のない人に関心を持ってもらうことが大事。地域などに学校の動きを伝え、応援団をつくるのが大事だと思う。
- ・ 社会に開かれた教育課程の実現のためにも、当協議会の役割として様々な意見を申し上げる。開かれた学校を目指してほしい。

7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216